

4-2

演題	私たちの『夢プラン』
副題	～ご利用者様の希望を叶えます～

ケアプラン

法人名	社会福祉法人 大地の会
施設名	特別養護老人ホーム 塩田ホーム

発表者名 (職種)	河田 一郎 介護支援専門員
共同発表者	本間 美智子
共同発表者	田嶋 研二
共同発表者	
共同発表者	

都道府県	神奈川県
住所	相模原市中央区田名塩田 2-5-24
TEL	042-778-4090
FAX	042-778-4876
メールアドレス	shioda-jim@daichinokai.jp
URL	

今回の発表施設 またはサービスの 概要	従来型（四人部屋）51人 ユニット型個室 49人 従来型短期入所個室 2人 ユニット型短期入所 18人 通所介護事業所 24人 居宅介護支援事業所 訪問介護事業所
---------------------------	---

研究の目的、PR ポイント

コロナ禍において、様々な行事やレクリエーションが中止になるなかで、何か利用者様に楽しんで行える事、ご本人が行いたい事、思いを実現するためにご本人、現場職員、ケアマネ話し合い、目標を実現させました。誰が見ても利用者様の叶えたい事はこれだと分かるようにケアプランの中に☆をつけました。

取り組んだ課題

コロナ禍において一切レクリエーションが行えていない状況の中で、散歩に出かける等の簡単な事から、水族館に行きたい等の遠出の外出レク等、いかにご本人の思いを抽出し、職員と共有し、実現していくか。コロナ禍において、どのようにレクを実現していくか。各職種の外出におけるの基準の曖昧さ。

具体的な取り組み

ご本人が何を行いたいのか聞き取り表を作成し、半年毎のケアプラン作成時に職員に聞き取りをして頂き、ケアマネがその聞き取り表を元にご本人や各職種に聞き取りを行い、より具体的に、その方にあったプランを作成する。☆のついたプラン一覧を作成し、基本的には半年に一回プランを実行できているか確認する。

活動の成果と評価

より利用者様個人の思いや希望を現場職員と共有でき、月に数件ではありますが、施設外に行くレクリエーションも実現できたと思います。
特に自分が意見を発する事が難しい利用者様に対し、職員がこうしてあげたい、こういう事をやってあげたいという意見が聞き取り表に記入して下さるようになったことが、ケアマネ自身もこんな事を考えて下さっていたのかと嬉しく感じ、実際に利用者様のQOL向上に繋がったかと思えます。

今後の課題

職員不足もあり、半年に一回以上行えていないプランも実際にはあります。5月8日以降は感染委員会

で話し合い次第ではもっと遠出のレクリエーションやお祭り等も開催できればと思います。

参考資料など

聞き取り表は研究発表当日に何部か持参致しますので、興味がある方はお声かけ下さい。